

第2回 静岡県土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会

日 時：平成30年12月10日(月)10時30分～12時00分

場 所：静岡県庁別館20階第一会議室A

次 第

- 1 開 会
- 2 出席者紹介
- 3 委員長挨拶
- 4 議 事
 - (1) 土砂災害警戒情報の発表基準の見直し（案）について
 - (2) 今後の予定について
 - (3) その他
- 5 閉 会

静岡県土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会

設置趣意書

静岡県では、土砂災害から県民の生命及び身体を守るため、平成19年6月から静岡地方気象台と共同で土砂災害警戒情報の運用を開始しました。この運用にあたっては、平成17年度に「静岡県土砂災害警戒情報検討委員会」を設置し、降雨及び土砂災害データを用いた基準雨量等の設定について、砂防学や気象学の専門的意見を頂くとともに、より詳細な情報の種類、形式及び提供手段等について、社会学の専門的意見やマスコミの意見、土砂災害防止に関する地域防災活動の第一線となる市町・地域住民の立場からの意見、助言等を頂きました。

土砂災害警戒情報は、市町長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自発的避難の参考となる情報であり、平成26年の広島豪雨を契機とした土砂災害防止法の改正により、土砂災害警戒情報が法律に明記され、県の役割が明確化されているところです。

近年の局地的集中豪雨や台風等に起因する記録的な豪雨により、平成29年の九州北部豪雨をはじめとした大規模な土砂災害が全国各地で発生しており、土砂災害警戒情報等の避難を促す情報の重要性が再認識されているところです。

本県では土砂災害警戒情報の運用開始から10年が経過し、降雨や土砂災害の発生データ、土砂災害警戒情報による土砂災害の捕捉状況のデータが蓄積されてきたことから、現行の発表基準の精度向上を図るため、発表基準の見直しを行うこととしました。

見直しにあたっては、砂防学や気象学の専門的意見に加え、情報を活用する行政機関からの意見を反映させる必要があるため本委員会を設置するものです。

静岡県土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会 運営要領

第1条 名称

本会は「静岡県土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会」（以下、「委員会」という。）と称する。

第2条 目的

本県における土砂災害警戒情報は、平成19年から静岡県と静岡地方気象台が共同で発表しており、運用から10年が経過し、降雨や土砂災害のデータが蓄積されてきた。

静岡県では、現行の発表基準の精度向上を図るため、蓄積データの検証、発表基準の見直しのために必要な検討を行っている。

委員会は、この見直しにあたって、基準雨量の設定等について砂防学や気象学の専門的意見、助言等を行うことを目的とする。

第3条 構成

委員会は、別表1に掲げる委員により構成する。

第4条 委員長

- (1) 委員長は、委員の互選により決定する。
- (2) 委員長は委員会を代表し、会務を総括する。
- (3) 委員長が不在となるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

第5条 委員会

- (1) 委員会は、委員長が認めるときに開催する。
- (2) 委員長は審議案件の内容に応じて、委員以外の出席を求めることができる。

第6条 ワーキング会議

委員会の目的を円滑に遂行させるため、発表基準の具体的な見直しにつながる技術的な検討を行う「静岡県土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会に係るワーキング会議」（以下「ワーキング会議」という）を設置する。

- (1) ワーキングは、別表2のメンバーにて構成する。
- (2) ワーキングの運営は、事務局が行うこととする。
- (3) ワーキングでは必要に応じて、メンバー以外の専門家の出席を求めることができる。

第7条 事務局

委員会、ワーキング会議の事務局は、静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課に置く。

第8条 その他

この要領に定めるもののほか、委員会に必要な事項は委員長が委員会に諮って定めるものとする。

附 則

この要領は、平成30年3月29日から施行する。

附 則

この要領は、平成30年9月19日から施行する。(第6条追加 等)

静岡県土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会 名簿（案）

（敬称略、順不同）

氏 名	役 職	分 野
土屋 智	静岡大学農学部名誉教授	砂防学
田中 隆文	名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授	砂防学
野呂 智之	国土交通省国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部土砂災害研究室長	国（研究所）
島崎 誠	国土交通省中部地方整備局 河川部総合土砂管理官	国（直轄砂防）
菊地 豊	伊豆市長	市町
藤村 昌彦	静岡地方気象台次長	地方気象台
植田 達志	静岡県危機管理部危機報道監兼危機管理監代理	県（危機管理）
梅原 正	静岡県交通基盤部河川砂防局技監	県（砂防）

静岡県土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会に係るワーキング会議 名簿（案）
（敬称略、順不同）

氏名	役職	分野
土屋 智	静岡大学農学部名誉教授	砂防学
田中 隆文	名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授	砂防学
野呂 智之	国土交通省国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部土砂災害研究室長	国（研究所）
藤村 昌彦	静岡地方気象台次長	地方気象台

第2回 静岡県土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会
出席者名簿

学識経験者

委員 土屋智 静岡大学 名誉教授

委員 田中隆文 名古屋大学大学院 生命農学研究科 准教授

行政関係者

委員 菊地豊 伊豆市長

委員 野呂智之 国土交通省 国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部 土砂災害研究室長

(代理：村田郁夫 国土交通省 国土技術政策総合研究所

土砂災害研究部 土砂災害研究室 研究官)

委員 島崎誠 国土交通省 中部地方整備局 河川部 総合土砂管理官

委員 藤村昌彦 静岡地方気象台次長

委員 植田達志 静岡県 危機管理部 危機報道監兼危機管理監代理

委員 梅原正 静岡県 交通基盤部 河川砂防局技監

(敬称略、順不同)

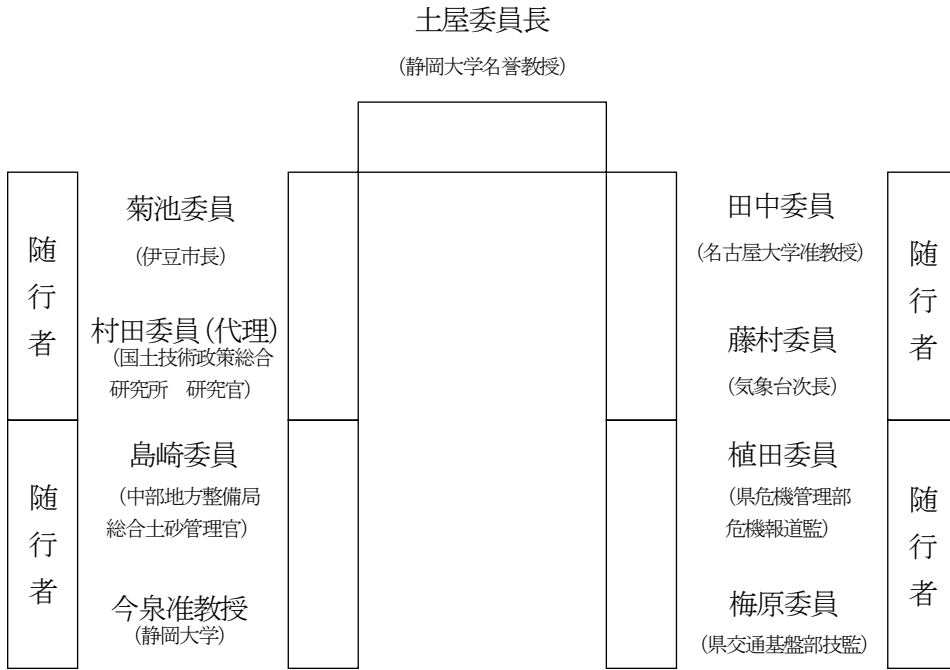
【オブザーバー】

今泉文寿 静岡大学大学院 農学領域防災総合センター併任准教授

【事務局】

静岡県 交通基盤部 河川砂防局砂防課

第2回 静岡県土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会
座席表



事 務 局	事 務 局
-------	-------

事 務 局	事 務 局
-------	-------

報 道 機 関
報 道 機 関